

のびゆく中和っ子

かしこく なかよく 元気よく
～学び合い、高め合い、ふるさとと共に歩む中和っ子～
旭市立中和小学校 令和5年12月22日 NO. 15



おめでとう 4年生

「未来へのまちづくり賞（朝日新聞賞）」受賞



このたび一般社団法人 日本損害保険協会などが主催する第20回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において、全国1708点の作品から上記の賞に入選が決定したことが発表されました。

4年生は、You学タイム（総合的な学習の時間）に地域の安全について学んできました。1学期は地区の安全マップを作り3年生に発表し、地元駐在さんからも「地域の安全」について話を聞いて学びました。2学期はさらに「防災」について学習を深め、洪水の危険、土砂災害の危険、津波に危険など、消防署や市民センターで話を聞いた話をまとめたり、地区の防災の歴史を調べたりして情報を集めてきました。どう学習を組み立てるか、試行錯誤の連続だったと思います。その中で、防災紙芝居の鑑賞、旭市防災資料館の見学なども行いました。今回の防災マップは、すすがね祭りの際、昇降口に掲示してありましたのでご覧になった方も多いかと思えます。

児童の頑張りが嬉しい受賞につながりました。「第20回 防災マップコンクール」で検索すると、Webで確認することもできます。中和小学校に、一足早いクリスマスプレゼントが届いたようです。表彰は年明けになるそうです。

5年生は福祉の学習を頑張りました。

You学タイムの時間に「福祉」の学習を続けてきました。高齢者疑似体験、車いす体験、認知症サポーター養成講座などたくさんの体験を積み上げ、その学びをプレゼンテーション形式にまとめ、発表会を行いました。当日は、旭市社会福祉協議会から福祉の現場で働く4名の方が来校され、児童の発表や疑問に直接答え、様々な事例や仕事での苦労、喜びなどを話してくださいました。5年生は、調べてきた内容が実感としてつかめた様子でした。当日は福祉について学ぶ城西国際大学の学生さん3名も訪れました。大学生になっても「福祉」を学び続ける人がいることも子供たちの刺激になりました。試行錯誤を繰り返し、高学年らしい深い学びが展開できました。



2年生は生活科「町探検発表会」を行いました。



生活科は、自然の観察や地域の探検といった活動や体験を通じて「気づき」を大切にしながら、身近な生活に関する見方・考え方を育てていく教科です。ここでも、自分たちで考え、試行錯誤しながら学習を深めていきます。今回は、グループごとに行った町探検の様子を1年生に伝えることを目標に、グループごとにクイズを盛り込んだり、ペープサートを使ったりして工夫した発表ができました。

試行錯誤しながら、時間をかけ、粘り強く取り組む学習はとても大切な学習です。失敗をしてもくじけずにやり続ける。友達との意見の違いは話し合いで解決する。折り合いをつける。学びから新たな疑問が生まれたなら、また調べ直すなど、学びの過程の中に「主体的、対話的、深い学び」の要素があります。これからの時代に求められる力です。

6年生社会科見学「歴博」へ



6年生にとって最後の校外学習である歴博見学が終わりました。社会科で学んでいる日本史の学習のまとめです。児童の感想からは、歴史学習に関する意欲の高さを感じました。

展示物の細かい説明をもっと時間をかけてゆっくり読みたかった。また、行きたい。

時代ごとに、ジオラマがたくさんあって、歴史がとても分かりやすかった。楽しかった。

平山 爆風先生による書初め指導 昨年、すずがね祭りでお世話になった「平山 爆風先生」をお招きしての書初め教室が行われました。爆風先生は、古橋飛山先生のお弟子さんで、古城学区にお住いの書家です。丁寧で、見事な筆さばきを子供たちに見せてくださいましたし、実際に、児童の作品に朱を入れて、個別の指導もしていただきました。



優しく教えてくれて、朱い墨で目の前で書いてくれたお手本は、とっても上手でした。

丁寧に教えてくれて、バランスのとり方がよくわかりました。上手に書けるようになりました。

あすから冬休みです。



今年も保護者の皆様や地域の皆様に支えられ、中和小学校の子供たちは日々健やかに成長することができています。新しい年が皆様にとって、また、子供たちにとってすばらしい年になりますよう心から祈念いたします。ありがとうございました。